



UNIXサーバ「PRIMEPOWER」試験工程

オープン環境に集中し、高付加価値システム構築のための高信頼製品を提供

情報処理事業では、これまで培ってきた高性能・高信頼および小型・軽量化などの先進技術を一層強化するとともに、業界標準技術への先行投資、パートナー企業との関係強化・拡大に注力し、サーバシステム、ストレージシステム、パソコンを中心としたグローバルな事業展開を図っています。

製品ごとの強化・拡充に加え、製品とパッケージソフト、サービス、サポートを一体化したプロダクト・ソリューションの提供に力を注いでいます。富士通グループでは、性能や信頼性の高いプラットフォーム製品の提供と、それらをシステムとして統合して安定した運用・管理を実現するトータル・ソリューションを強みとし、お客様の情報システム構築での効率化に貢献することで、利益率向上を図ってまいります。

サーバシステム事業およびストレージシステム事業では、ブロードバンド・インターネットの時代の中核製品として業界標準技術に対応したオープン・プラットフォームに集中することを基本戦略としています。2000年5月に、グローバルブランドとしてIA(*1)サーバを「PRIMERGY(プライマジー)」、UNIXサーバを「PRIMEPOWER(プライムパワー)」に統一、グループをあげてオープンサーバ事業を強力に推進しています。特に「PRIMEPOWER」では、大型メインフレームの技術を生かし、CPUを最大128個搭載するモデルを製品化し、トランザクション性能のベンチマークTPC-Cで世界最高値を達成すると共に、1年間の停止時間が5分以内(1年の99.999

%稼動)という高い信頼性を実現しました。また、「PRIMERGY」ではWindows2000に加え、Linuxを搭載したモデルを製品化し、「低コストで安定したシステム構築を実現したい」というお客様の要求に応えています。急成長が見込まれるオープン環境向けストレージシステムについては、GR700シリーズの製品ラインアップを大幅に拡充し、24時間連続運転が可能な高い信頼性を実現すべく統合ストレージ管理機能や瞬時コピー機能といった運用管理機能を充実させました。こうした取り組みによって、ブロードバンド・インターネットの時代の企業情報システムや需要の高まるインターネット・データセンターを総合的にサポートできるのが、富士通グループの大きな強みとなっています。

パソコン事業では、常時接続対応やBluetoothをはじめとしたワイヤレス対応に注力するとともに、ノート型を中心にグローバル展開を強化しています。

(*1)IA : Intel Architecture